「医療×ものづくり」で、不可能を塗りかえる ジャパン・メディカル・カンパニー、 関口康氏が社外取締役に就任

組織力・コーポレートガバナンスの育成強化を支援

このたびの新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになった皆さまに謹んでお悔やみを申し上げますとともに、引き続き闘病中の皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。また、感染の診断・治療に日夜奮闘されている医療従事者の皆様に、心からの敬意を表します。

最先端の3Dプリンティング技術を用いた製品の開発を行う医療ベンチャー、株式会社ジャパン・メディカル・カンパニー(所在地:東京都中央区、代表:大野秀晃)は、関口康(せきぐち こう)氏を社外取締役に選任した。これまでも同社の顧問として経営に関わってきたが、今後さらに組織力やコーポレートガバナンス面での提言を積極的に行なっていく。ベンチャーとしての高い機動力や成長力は維持しながら、社会の公器を担える企業組織の育成・コーポレートガバナンス強化を支援する。



取締役 関口康 経歴

東京大学工学部都市工学科卒、マサチューセッツ工科大学スローンスクール(経営科学修士)修了。三菱商事を経て、1990年ボストンコンサルティンググループに入社。1996年にジョンソン・エンド・ジョンソン・メディカルに入社し、1998年にヤンセン協和(現ヤンセンファーマ)社長就任。2009年社長退任し、2010年まで同社最高顧問。2011年よりディー・アイ・エー・ジャパン代表理事、2018年退任。2012年から2020年まで日本医療事務センター(現ソラスト)社外取締役。2014年から2018年までケネディックス社外取締役。2018年より大塚ホールディングス社外取締役。2010年よりビジネス・ブレークスルー大学大学院教授、現名誉教授。著書に『ヤンセンファーマ 驚異のビジョン経営』(東洋経済新報社)がある。

就任メッセージ

これまでの医薬品、医療機器事業の経営の経験とネットワークを活かし、 社外取締役としての客観的かつ独立した立場から、ジャパン・メディカル ・カンパニーの経営力、組織力、コーポレートガバナンスの育成と強化に 資する提言や助言を行う事により、若さにあふれ可能性豊かなジャパン・ メディカル・カンパニーが、高い成長力と安定した経営基盤のある企業と して発展することに貢献したい。

<サイト URL>

株式会社ジャパン・メディカル・カンパニー 企業ホームページ https://japanmedicalcompany.co.jp/

株式会社ジャパン・メディカル・カンパニー 問い合わせフォーム https://japanmedicalcompany.co.jp/contact.html

<ジャパン・メディカル・カンパニーについて>

ジャパン・メディカル・カンパニーは、最先端の 3D プリント技術を用いて、医療領域において製品開発を行うものづくりベンチャーです。テクノロジーによって「世界にまだない医療のカタチ」をつくることを目指しています。

・社名:株式会社ジャパン・メディカル・カンパニー

・設立:2018年5月 ・代表:大野秀晃

・事業内容:医療機器の開発・製造・販売、医療雑品の開発・製造・販売

URL: https://japanmedicalcompany.co.jp/



Japan Medical Company

<本リリースに関するお問い合わせ先>

株式会社ジャパン・メディカル・カンパニー 広報担当

TEL: 03-5829-8342 E-mail: info@japanmedicalcompany.co.jp